飯塚　cut back 瘻孔はbucket handleの正中からやや左側にあり、電気刺激による収縮の中心点は瘻孔の後方8mmで正中の位置であった。瘻孔の左右には収縮を認めたが前面には認めなかった。 　瘻孔の後縁左右に5-0 vicrylの吊糸をかけ展開し、瘻孔後縁より10mm（筋肉の中心を少し越える程度の位置まで）鋏で切開した。 　電気刺激で露出した筋肉の分布を観察しながら、少し盛り上がった筋肉を摂子でつかみ後方へ切開した。それにより皮膚、皮下織と外括約筋の間のspaceができた。 　瘻孔後縁を奥行6mm程切り込み、さらに皮膚と切開した瘻孔後縁をvicryl 5-0,　9針で縫合していった。 　ネラトン8号を挿入し、手術を終了した。